



K.K 日本語日本文学科 3年次生

参加期間： 2018年3月8日～3月17日(10日間)

□. プログラムについて

10日間という短い時間でしたが、本当に濃い経験ができました。海外での実習ということで行く前はいろいろ不安でいっぱいでしたが、行ってからは毎日が楽しかったです。このプログラムに参加して良かったと胸を張って言うことができます。

まず、実習面に関してですが、とても充実していたと思います。海外で日本語を学ぶ、同じ大学生に日本語を教えるという経験は、とても刺激になったし、お互いの学習意識の向上に繋がると感じました。私は昨年夏から、大阪の日本語学校で教えているため、教壇実習にあまり緊張はありませんでしたが、大学生への授業というのは初めてだったので新鮮でした。また、現地で担当の先生から、実習時間をもう一時間いただくことができました。教案を増やすのは大変でしたが、その分、授業内容をより深いものにできたと思います。初めて授業をする後輩達はみんなとても緊張していましたが、自分の授業が始まると今まで準備してきたことをちゃんと出し切れていたと思います。担当の先生方からも教壇実習に関して多くのお褒めの言葉をいただきました。

次に、生活面に関してはとても快適に過ごすことができました。泊まっていたI-Houseという宿舎は綺麗で、生活しやすかったです。朝ご飯も前日に時間を指定すると、その時間に部屋まで届けて頂きました。基本毎日違う朝ご飯を持ってきてくれました。どれもおいしかったです。タオルも毎日新しいものを持ってきて貰えて助かりました。ホテルと同じような感じで大体のアメニティーはそろっており、特に不自由なく生活することができました。

最後に、このプログラムを通して台湾という国が大好きになりました。台湾の学生はみんな私たちのことを暖かく受け入れてくれました。特にチューターのみんなは学校の案内から私たちの観光までいろいろお世話をしてくれました。私たちの実習期間はずっと天気にも恵まれていたので、各観光名所でとても素敵な景色を見ることができました。チューターのみんなも暇なわけではないのに、私たちの空き時間にいろいろなところに連れて行ってきて、毎日楽しい時間を過ごすことができました。本当に感謝しています。

□. 参加希望者へのアドバイス

海外での実習なので不安に思う人も多いと思いますが、その不安以上に、楽しく充実した時間を過ごすことができると思います。担当の先生はどの方も親切で、私たちの授業をしっかり指導して下さるので、心配いりません。また、隣には同じ実習生の仲間が、そして現地では日本語をよく話することができるチューター学生がいますので、分からないことがあったら相談したり、励まし合ったりして、頑張ることができると思います。私は今回の実習では唯一の3年生でしたが、後輩やチューター学生と学年の壁を越えて仲良くなることができました。チューター学生はみんな日本に興味を持っている親切で明るい子ばかりだし、私たちの実習生活を本当によくサポートしてくれるので、安心してください。生活面も特に不自由なく暮らすことができます。泊まる場所は日本のホテルとあまり変わりません。台湾の食事はおいしいし、食べたいものを言っ

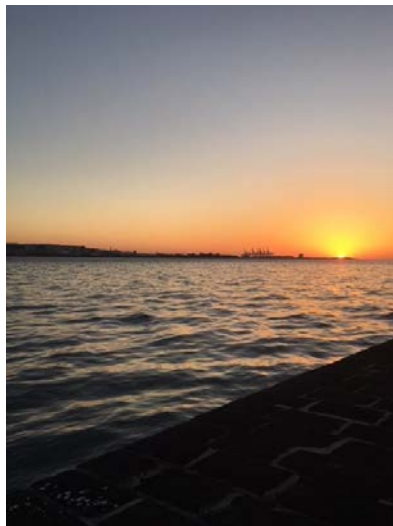


たらチューター学生がそれを食べられるお店に連れて行ってくれます。学校の周りにはお店もたくさんあるので、飽きることはないと思います。タピオカミルクティーのお店もたくさんあって、いろいろな味を飲み比べました。とにかく、実習中は楽しいことが盛りだくさんですが、実習前の準備をしっかり行っていないと楽しいものも楽しくなくなってしまいます。準備はしっかりしていくことをおすすめします。来年参加される皆さんも、実りの多い実習となることを願っています。

最終日 担当の先生達とチューター学生と共に



淡水にて





九份にてチューター学生と



魯肉面（ルーロー麺）





T.K 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2018 年 3 月 8 日～3 月 17 日（10 日間）

□. プログラムについて

- 事前指導として、台湾のことについての調査を行います。あるテーマに沿って調べてきます。私は「(台湾の) 中国語に関する基礎知識」というものでした。
- 担当の教師と連絡を取り、授業内容や雰囲気などからどのような授業計画にするか、教案の作成をしていきます。何度か見て頂き修正をしていきます。
- 台湾へ行く前に一度山本先生に 15 分程度の模擬授業を見て頂きます。不安のある部分をご指導頂きます。
- 台湾では、平日は授業見学・模擬授業・教壇実習、休日は観光をしました。
- 授業見学は多種多様な授業で、教壇実習の前に行われます。教壇実習の参考になる部分がたくさんあり、教案の修正をするときもありました。
- 模擬授業は担当の教師 4 人（もう 1 人担当の教師がいましたがご都合により欠席でした）と生徒役のチューターさん 3 人の前で行いました。20 分程度の短い模擬授業で、意見や感想、ご指摘を頂きます。
- 教壇実習は 1 人で 100 分（50 分+50 分）行いました。途中で休憩が 10 分入ります。学生たちは真剣に授業を受けてくれました。
- 休日はチューターさんが観光案内をしてくださいます。私たちは淡水と九份、夜市に行きました。チューターさんの中には初めて行くという方もいましたので一緒に楽しみました。





□. 参加希望者へのアドバイス

私は初めての海外、さらに初めて外国人に日本語を教えるということで不安と緊張ばかりだったのですが、このプログラムに参加して本当に良かったと思います。特に、担当の教師が決定した際に、私の担当教師は厳しい先生とお聞きしていたので、台湾に行ってお会いするのが不安でした。しかし、実際にお会いしてみると物事をはっきりとおっしゃる先生で、教壇実習終了後は一緒に食事をし、日本語教師の仕事についてたくさん教えて頂きました。台湾の日本語教育事情を知ることができました。また、チューターさんとは日本語で会話をするので言葉の壁はなく、安心して過ごすことができます。買い物や観光の際に、ついてきてくれましたので不安は少ないです。

このプログラムは台湾の文化を肌で感じるすることができます。また、教壇実習では学生の生の反応を見ることができ、今の自分の実力を確認することができます。迷っている方がいたら、ぜひ参加してほしいと思います。



T.K 現代社会学部 社会システム学科 2 年次生

参加期間： 2018 年 3 月 8 日～3 月 17 日（10 日間）

I. プログラムについて

教育実習と観光のどちらも充実した 10 日間でした。

授業見学では、外国ではどのように日本語が教えられているかを自分の目で見る事ができ良かったです。また実際に授業見学でも、政治大学の学生と話す機会もありとても良かったです。

教壇実習では、会話演習の授業を担当しました。学生は約 20 名いました。クラス内でも学生の日本語レベルの差が大きかったので、前半は初級向けの会話演習、そして後半は上級者向けのディスカッションを行いました。前半では関西弁などの方言も扱い、学生はとても興味を持っていました。後半の授業では、今までの実習生が行わなかったディスカッションを行いました。行う前は「難しい社会問題を日本語で意見交換し合うのは、大変なのではないだろうか。」と不安でしたが、やってみると普段あまり発言しない学生が、私に必死に意見を伝えてきました。その瞬間が本当に嬉しかったです。

観光では、政治大学のチューターさん達が毎日のように美味しい食べ物のお店や観光地に連れて行ってくれました。土日は大学から遠い淡水と仇分に行きました。チューターさん達は本当に日本語が上手でたくさん助けてもらいました。学生との交流も盛んなプログラムで充実した 10 日間でした。

II. 参加希望者へのアドバイス

私は現代社会学部だったため、日本語学科の授業をできる限り受講し、日本語指導の知識をつけるよう努力しました。また日本語教育以外の知識も本当に重要だと感じます。日本の文化や社会問題など、幅広く知識を身に付けるようにすることで授業も活気のあるものになると思いました。

また、担当教員の方によって自由度やニーズが異なるので、教案作成の段階から進度が全然違います。私の担当教員の先生は自由度が高かったので、比較的自分がやりたい授業を最終的には行えました。しかし、教案作成の段階では現地の台湾に行ってから毎日のように改善点があったため大変でした。ですので、自分のノートパソコンは必ず持って行った方が良いと思います。

観光の面では、酔い止めが必需品です。海外経験もあり、乗り物酔いしたことがなかった私ですが、台湾のバスは激しく揺れるのでバス酔いしました。気を付けてください。

あと、タピオカミルクティーを飲むときにストローがうまく刺さらずこぼしてしまうことがよくありました。ストローを刺すときは勢いよく一気に刺した方が良いです(笑)

